

カリブの島国で盆踊りが観光資源に？！

日本舞踊家がドミニカ共和国で新しい盆踊りを制作！

独立行政法人国際協力機構（以下、JICA）は、日本舞踊家の孝藤右近氏を 9 月 8 日から 9 月 19 日にかけてドミニカ共和国に派遣し、「誰も取り残さない踊り」である盆踊りの力を活用して、地域コミュニティやその繋がりを強化するとともに人々が平和の瞬間を共有するための活動に取り組みました。

この活動は、「共感」を呼ぶプロフェッショナルであるアーティストに注目し、彼らの持つ表現方法やメッセージの伝え方を国際協力の現場に組み込むことで、よりわかりやすく、興味がわきやすい「共感を得られるコンテンツ作り」を通じて、一層魅力的な開発を実現することを目的として 2023 年に開始した JICA 新規事業「Artist in Project」の取り組みの一環として行われました。芸術性・エンターテインメント性のある新たな開発の手法に挑戦し検証することで、新時代の開発の可能性を開拓できるのではないかな。そんな思いから事業に取り組んでいます。

1. ドミニカ共和国のグアナニコとコトゥイで創る新しい盆踊り「世界 Bon Bon」

9 月 10 日から 12 日にかけて、ドミニカ共和国のグアナニコとコトゥイを訪れた孝藤氏は、それぞれの地域に合わせた盆踊りの制作に関する意見交換・準備を進めるとともに、盆踊りを生かしたコミュニティ開発の可能性について調査しました。

ドミニカ共和国は、世界遺産に登録されているサント・ドミンゴやカリブ海の高級リゾートに代表される、中南米域内有数の観光大国です。ところが代表的な観光地のほとんどが沿岸部に位置しており、特に欧米資本によるオールインクルーシブ型のビーチリゾートに観光収入が集中していることから、内陸の農村地域は観光の恩恵を受けることができていません。この課題の解決策として、JICA は「持続可能なコミュニティ観

光」というコンセプトをドミニカ共和国に紹介し、長年の協力の結果様々な優良事例が生まれつつあります。今回孝藤氏が訪れたグアナニコは、著名な伝統音楽であるメレンゲティピコの発祥の地といわれ、音楽・舞踊とカカオの観光農園を活用し、観光客の呼び込みを進めています。またコトゥイには、アメリカ大陸の中でも大変貴重だとされる、200年以上音楽を継承する一族及びそのバンド（El Jameo）がおり、UNESCOの世界文化遺産への登録に向けた準備も開始されています。両市について孝藤氏は「ドミニカ共和国の農村部を知り、そこに住む人々の生活に音楽・舞踊が溶け込んでいることを肌をもって実感できた」と語ります。

JICAと孝藤氏で創りだした「世界 Bon Bon」は、各地の伝統音楽と舞踊が持つエネルギーに、誰もが加わることのできる日本の盆踊りが生み出す一体感を掛け合わせることで、世界のどこであっても人々が平和と幸福を共有できる新しい舞踊です。孝藤氏は今回の訪問を通じ、音楽が深く根付いている両市におけるコミュニティ開発の推進力として、JICAと地元コミュニティで制作した楽曲「Merengue Bon Bon」と「Cotui Bon Bon」に対し、独自の振付を考案しました。音楽の持つ体験価値を生かしたコミュニティ開発の可能性について、孝藤氏は「両国の文化を引き合わすチャンスがあれば、現地の文化や課題などをより伝えることができ、また解決にむけて様々な賢者、文化人たちの興味深いアイデアや協力を得ることができる。文化の財源を共に分かちあい、歌い踊り合うことで持続可能な開発を可能にするための新しいツールや道しるべを作っていけると確信している。」と語りました。

2. 首都サント・ドミンゴの国立劇場で「世界 Bon Bon」を披露

9月13日、孝藤氏はドミニカ共和国の首都・サントドミンゴにある国立劇場にて公演を行い、日本舞踊、剣舞、歌舞伎-獅子踊り、世界 Bon Bon の演目に参加しました。満員の劇場において、日本と長年の関係がある聴衆からは「ドミニカ共和国でこのような本物の日本文化に触れる機会はなかった。素晴らしい時間であった！」との言葉が寄せられました。

講演では全6曲の「世界 Bon Bon」を披露。その意義について孝藤氏は「国立劇場のような国の最も格の高い劇場で公演をすることはインパクトが大きく、今後の世界展開の中でもこのような機会を探っていきたい。」と話しました。

また、アメリカ大陸最古の大学であるサントドミンゴ自治大学（UASD）、及び東シバオ工科大学（UTECO）にて記念講義を実施し、満場の会場から拍手喝采を浴びました

今後は、全国 100 都市での制作・開催を目標とし、世界 Bon Bon のプラットフォームを立ち上げ、世界のより多くの方々が使えるコンテンツとして拡げていくことを想定しています。インクルーシブなつながりを創出できる盆踊りの力を世界中で役立てていくとともに、普遍的な平和への祈りの輪を広げていくことが期待されます。



グアナニコのカカオ農園にて、バンド・舞踊メンバーと。



東シバオ工科大学(UTECO)にて記念講義。学生たちに盆踊り文化を紹介。



コトウイにて現地の伝統音楽バンド（El Jameo）と共にパフォーマンス



国立劇場での公演にて世界 Bon Bon を披露



桜のインスタレーションを背景にパフォーマンスする孝藤氏



日本舞踊や剣舞、歌舞伎の演目も



アメリカ大陸で最も長い歴史を有するサントドミンゴ自治大学（UASD）にて記念講義。



学生をモデルに歌舞伎メイクの実演。